

上位計画について

横浜市中期計画2022～2025

「横浜市中期計画2022～2025」において、2040年頃の横浜のありたい姿「共にめざす都市像」の実現に向け、全ての政策分野の基軸に据える上位指針としての基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」に加え、9つの戦略と38の政策等を取りまとめました。

◇共にめざす都市像

「明日をひらく都市（OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA）」

◇基本戦略

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」



中期計画 H.P



こども自然公園の未来を一緒に考えませんか？ パークマネジメントプランの策定に向けた「現状と課題」について

皆様のご意見をお聞かせください

意見募集期間 令和5年6月19日（月）まで

こども自然公園は、横浜の公園の中でも大きな面積を有し、大池を中心とした丘陵地にゆったりとした良好な自然が残され、四季折々の景観を楽しめ、とりでの森（大型遊具）、バーベキュー場、自然体験施設、ちびっこ動物園、野球場、青少年野外活動センターなど、数多くの施設が整備され、地域の方々をはじめ、近隣の他都市からも利用が多い公園です。また、「本宿の大池」として親しまれていたことから、現在でも別名「大池公園」と呼ばれています。

近年では、民間事業者と連携したイベントが実施されるなど新たな利用が進む一方で、多様な施設やイベント等を効果的に活用すること等や、相鉄線とJRや東急線の相互運転による周辺地域の変化に呼応することで更に魅力的な空間となること等が期待されています。

また、横浜市中期計画2022～2025では、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を掲げ、横浜に関わる様々な人・団体の皆様と共に、横浜の受け継ぐ多様な魅力を更に高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指し、市民生活の質と都市の活力の向上の好循環へつなげていくこととしています。

このような状況の中、横浜市では横浜市中期計画2022～2025、横浜市水と緑の基本計画等を踏まえ、公園の抱える課題の解決を含めた魅力アップを目指し、こども自然公園の将来像を示したパークマネジメントプランの策定を進めます。

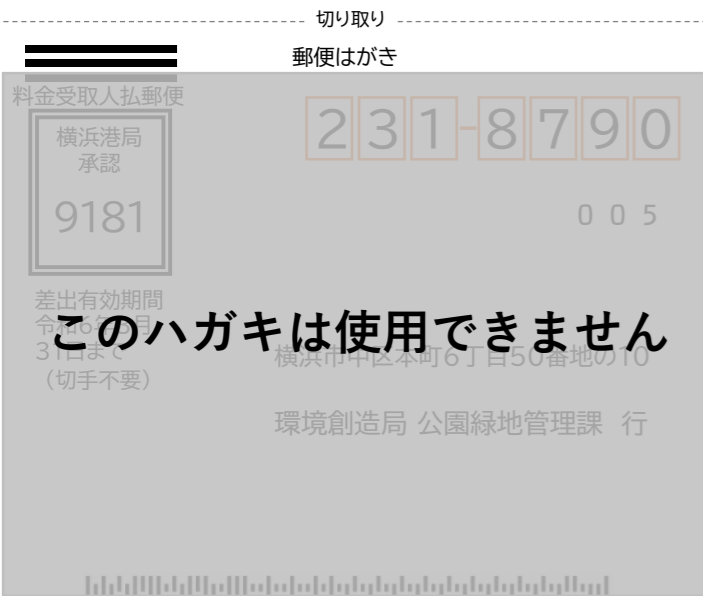
策定にあたり、こども自然公園の現状と課題の考え方を整理しましたので、皆様のご意見を募集します。ご協力くださいますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



こども自然公園 位置図

こども自然公園の主な担い手

団体名	運営施設や活動場所
(公財)横浜市緑の協会	バーベキュー広場、売店、駐車場、万騎が原ちびっこ動物園
(公財)横浜市スポーツ協会	青少年野外活動センター
(NPO法人)こども自然公園どろんこクラブ	教育水田、里山・畑（自然体験施設）
こども自然公園第二広場愛護会	自由広場



こども自然公園パークマネジメントプランについてご意見をお聞かせください。
募集締切 令和5年6月19日(月)まで

応募方法

- 次のいずれかの方法でご意見をお寄せください。
- ①はがき(左のはがきを切り取り、ご使用ください。)
(切手不要 当日消印有効)
 - ②FAX：045-352-3086 北部公園緑地事務所 あて
 - ③電子メール：ks-hokubukouen@city.yokohama.jp
 - ④持参：受付時間 8時45分から17時まで
 - ⑤インターネット入力フォーム
スマートフォンで回答される方は下記QRコードからアクセスできます。パソコンで回答される方は、下記よりアクセスください。
<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/e8fe9b92-51d4-43f1-97d1-bf14081e111e/start>

お問合せ

横浜市環境創造局 北部公園緑地事務所
電話番号：045-353-1166



注意事項

- ・ご意見への個別の回答は行いません。また、ご意見を正確に把握するため、電話でのご意見の受付はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得した個人情報は「横浜市個人情報の保護に関する条例」に従い適正に管理し、ご意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用します。

パークマネジメントプランとは

パークマネジメントプランの目的

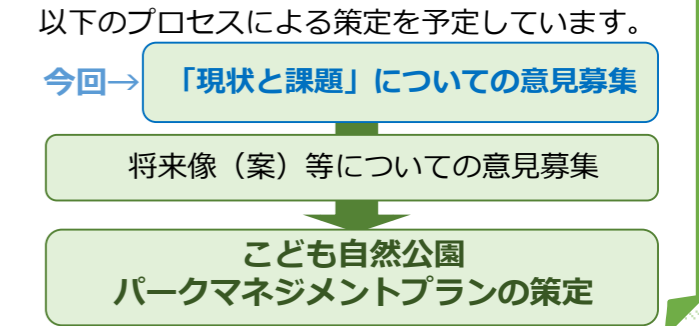
公園の魅力アップにつながる利活用を進めるにあたり、公園の立地特性、基本的性格、利用状況、課題等を踏まえ、公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手（関係団体、民間事業者等）となる皆様と共有するために策定するものです。

プラン策定の進め方

基本となる考え方

公園の目指すべき将来像を地域の方々、利用者や担い手（関係団体、民間事業者等）となる皆様と共有しながらプランを作成します。

策定の方法



こども自然公園パークマネジメントプランの策定に向けた「現状と課題」等について

1. 現状

基本的性格

- 未来を担う子どもたちが豊かな自然の中で遊び、活動する場
- 「緑の10大拠点」として緑をまもり・育てる
- 防災・災害対応（広域避難場所として位置づけ）
- 地域の活動の場（コミュニティの醸成）
- 広域のレクリエーション需要に供する公園（広域公園）

立地特性

- 丘陵地に位置し貴重な緑の拠点を形成
- 周辺は、住宅地が中心

周辺地区の動向

- 相鉄線とJRや東急線の相互運転による周辺地域の変化に期待
- 最寄り駅である二俣川駅の再開発事業が2019年に完了

2. 課題

○ 多様な施設の効果的な連携

施設管理者間の、情報発信の方法などのさらなる連携が求められます。

○ 休日のインフォメーション機能の充実

事務所閉所日の園全体の休日の案内などの充実が求められます。

○ イベントの効果的な活用や効率的な運営

指定管理者や区の共催事業などイベントの効果的かつ効率的な活用が求められます。

○ 冬季等や平日の公園の活性化

閑散期の利用者増加につながる公園活性化の方策が必要です。

○ 高木の適正管理や生物多様性の観点による管理の充実

サクラやツツワムシなど動植物への配慮が求められます。

○ こどもが主役となって楽しめる公園づくり

次世代を担う子どもの「あそびのふるさと」となる整備や運営の継続が求められます。

○ 草地広場を含めた未整備エリアの活用

未整備のエリアで新たな魅力となる整備、運営が求められます。

○ 売店等の老朽化

建て替えなど機能の見直しを含めた早急な再整備の必要があります。

○ 広域避難場所として災害時の対応内容の共有

施設管理者間のさらなる連携が求められます。

○ 公民連携（公共、民間、地域）による公園の魅力アップ

ボランティア活動の活性化や、民間事業者等による賑わいや滞在する空間の創出等を進める必要があります。

○ 公園利用者のマナー向上

自転車走行や犬の放し飼いなど禁止行為が減り、安心安全な公園が求められます。

○ 万騎が原ちびっこ動物園

施設の老朽化への対応や、動物とのふれあい事業を含めた施設のあり方について検討が必要です。



ダイナミックな「とりでの森」



再生した桜山



教育水田の里山風景



別名「大池公園」の大池



ピクニック広場

パークマネジメントプランの詳細については、こちらからご確認ください。



切り取り

回答欄

募集締切 令和5年6月19日(月)まで

次に示す1~4の番号の中から、ご意見のある番号を○で囲んでください。

- 1. 現状
- 2. 課題
- 3. プラン策定の進め方
- 4. その他